

見る人が増えるといいな。。。あっ！今回は活動履歴はお休みです。

## 約1年過ごしてきて

来月11月で山形村に来て1年になります。  
何もわからない村に、たった一人で来て楽しくやってきました。  
次の1年も楽しくやっていきたいと思っています。  
そして、お邪魔したり参加したりする中で、何となく  
感じていること。  
行事やイベントによって、若者や移住者の参加が少なかったり、  
トキには、いなかったりするのを目にします。  
合っているか、間違っているかはわかりませんが、  
新旧住民で温度差があるように感じました。  
もっともっとお互いに歩み寄りが必要なのかな～。とも思っています。  
そして何かを期待したり、何かをあてにしたり、誰かがしてくれるのを待っていたり、何かを理由にしてやらなかったり、を感じることも。

自分一人では何も出来ないかもしれないけど、何もしなければ始まらない。だから、やらない後悔より、やる後悔を選んでやっていきます。

## やってきたこと

最初は村の資料を読んだり、村で制作したドラマを観たり、  
YCSを観たりしてきました。  
そして、村中を車や歩きでグルグル回ったり、写真を撮ったり、  
いきなりイベントを開催したり、各地区の総会に出たり、  
一般質問を傍聴したり、議会の会議等に出たり、  
飲み会に参加したり、消防団に入ったり、様々してきました。

普通の引っ越しではしないことを体験して、  
少しでも地域に入れたかな。と今ではちょっとだけ思います。

# 協力隊の現在地 (仮)

「いま」、そして「これから」

— vol.3\_2018.10 —

## 仲間が増えた

今月、ようやく一人仲間が増えました。  
将来の蕎麦職人候補として、  
村内のお蕎麦屋さんで修行がはじまります。  
お互いの個性や特技を生かし、  
相乗効果が出せるように、これからもガンバります。

## 次に向かうために

自分自身が持つ得意とするスキルで村に貢献できて、  
必要としてくれる人がいるなら、  
携帯電話のこと、パソコンのこと、ホームページのこと、SNSのこと、などなど  
ITに関する様々な問題や疑問、質問に対応出来ればと考えています。  
こちらも前回、「産業を興すことで、地域を興したい」と掲載しました。  
それを実現するため、山形村で生活する上での生業として、いまは複業として、  
村民の方を対象に有料にはなりますが、トレーニングセンターなどを活用して  
今後、講座や講習、コンサルタントを実施していきたいと考えています。

## 何をしようか、するべきか

前回は掲載しましたが、交流と発信の拠点作り  
コミュニティスペース作りを少しずつ実行しています。  
そして、1年やってきて、自分が得意とするITスキルを  
もっと使って、地域に村に貢献していこうと思います。  
(携帯電話のアドバイスや講習会、webサイトの制作など)

坂野 岳人 (ばんの たけと)



# 新しい協力隊が仲間入り



## なぜ地域おこし協力隊？

情報を発信したい、知ってもらいたい。  
自分にできる事は少ないかもしれないけれど  
もっと多くの人に村を知ってもらい、村の活性化をと思い  
地域おこし協力隊になろうと思いました。



## プロフィール

名前 見澤 愛 (みさわ まな)  
年齢 24歳  
出身地 埼玉県

## なぜ山形村に？

初めは山形村が長野県のどこにあるかも知りませんでした。  
山形村を知ったきっかけは、あるそば屋さんとの出会いです。  
その店主の方はそばに対しての熱意が強く  
また人との出会いを大切にしている方で、私もそんな人になりたいと思いました。  
そのきっかけから山形村を知り実際に来てみると、人の優しさ、  
美味しい水や食材、キレイな空や山、空気があるところだと思いました。  
以前から農業をやりたいとも思っていたので  
山形村は私にはとても合っていると思い、移住を考えました。  
また、そば集落にもとても魅力を感じました。



## 目指す道

幼い頃から料理を作ること、食べることが好きでした。  
高校生の時にアルバイトでお金をため、希望する専門学校に入りました。  
将来お店を持ちたいと思っていたので専門学校では、  
調理の知識と経営を学びました。  
卒業後は都内のホテルに就職し、西洋料理の調理師として4年間働きました。  
広く浅くではなく、一つのことを極めたいという思いから  
協力隊に応募しました。好きなそばで仕事をしたい、  
そば職人になろうと思っています！

## 3年後は？

地域おこし協力隊は最長3年です。  
3年後すぐに自分のお店を持てるとは思ってはいませんが、  
いつか自分のお店を持ちたいと考えています。  
そのためにまずはそば職人として自信が持てるようになり  
一人前に認められるように頑張ります。